

R1 講評（ 昆虫 ）の部

◎ 標本のつくり方が向上してきている。

もう少し指導を行ったら、もっと良くなる作

品がありました。

○ 標本数が、今年も少なく残念です。来年は、

昆虫標本にチャレンジする子どもがふえてく

れるとうれしいです。

◎ 低学年の中に、良い標本がふえてきてい

るのが良かったです。

△ 標本ラベルのつけ方に、もう少し指導が

必要なものがあつた。(大きさが、大きすぎる)

(針のと中につけていない)

R1 講評（ 貝 ）の部

◎ 今年は、質・量ともにすばらしい作品が多くて、審査するのに苦労するとともに、大変うれしく思います。

◎ 新鮮な標本が多くあり、また、テーマのある作品が見られて、その成果が目録の記述によくまとまっています。

○ 標本は記録が大切だと思います。

○ 貝の標本作りを通して、理科や自然科学を好きになるきっかけになってほしいと思います。継続した作品作りで、親子の思い出作りを楽しんでほしいです。来年の参加をお待ちしております。

R1 講評（植物）の部

◎ 1年を通して採集していて、花や実の時期
をとらえた作品に仕上がっていました。

◎ 作品の取りあつかいが、とてもいいねいで、
心のこもった作品が多かったです。

◎ 花や葉の生の色がよく出ており、栗などの
実も工夫して、よく乾燥させていました。

△ 園芸植物（マリーゴールド）は採集せず、鹿
児島に自生している植物を採集しましょう。

△ ラベルには、採集者の名前や採集時期を明
記しましょう。また、「採集会」や「名前を調
べる会」などを利用して、規格に合わせ、正し
い名前を記入するようにしましょう。

R1 講評（ 岩石 ）の部

◎ 今年の標本では、色々な場所で採集し、多くの種類の岩石が集まっているのが特徴でした。これも、汗を流しながら、一生けん命がんばったからこそだと思います。今回の標本を審査し、「こういう所に気をつけると、もっとよくなりますよ」というアドバイスを3つします。

① 標本の大きさを、自分のこぶし程度の大きさにそろえるとよいでしょう。

② 風化して、ボロボロになった所はさけて、なるべく新鮮な部分を採集しましょう。

③ どんな所に、どのような岩石があるのかを、本などでよく調べてから採集しましょう。

以上のことを参考にさせていただいて、来年も楽しい標本づくりにチャレンジしてください。